

障がいのあるお子様をお持ちのご家族の皆さんへ

コロナウィルスに負けないで、がんばりましょう！



今年に入ってから、急速に広がった新型コロナウイルスの感染。熊本は、感染者が一けたで推移し、重症と伝えられていた 20 歳代の方も無事退院されたといううれしいニュースも伝わってはいますが、ついに、TOKYO2020 オリンピック・パラリンピックの延期が発表され、全世界がその対応に追われています。

熊本市手をつなぐ育成会が運営する入所施設「しょうぶの里」はじめ、通所の第二ぎんなん作業所や、児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の「子ども育ちの家 て・い・く」、グループホーム「ぎんなん」「千金甲」「あいりす」の利用者のみなさんは、支援者職員と一緒に感染予防にがんばっています。

今日、久しぶりに入所利用者のお母さんが、事務局に顔を出してくださいました。利用されている施設も 2 週間以上帰宅を制限され、ストレスをためられていたのか、ご本人は、施設ですっと泣いていらしたそうです。

帰宅制限は、この土、日で一旦解除にはなりましたが、帰宅の際は、自宅以外には出かけないようにとのお願いがあったそうです。

このように、学校が休みになって、かろうじて開いている保育園や、通所の施設なども、年度末のお楽しみ会や、おでかけがなくなって、日常のパターンが乱れてくると、私たちの子ども達は、一般の方以上にストレスを感じているのではないのでしょうか？

先が見えないウィルスとの闘いは、まだまだ続きます。私達も障がいのある子の家族として、何かできることはないのでしょうか？

1. まず、自分がイライラしない。(子どもにピリピリが伝わります)
2. 思わず大声を出して叱りそうになったら、6 秒くらい数える
3. 鏡を見て、笑う練習をしましょう。笑える話題を考えましょう。
4. 「私も『隠れ感染者かもしれない』」と思って行動しましょう
(子どもが施設や学校に通えなくなったら本人も私も大変ですから…)

熊本地震を乗り越えた私たち…

どぎゃんかなる精神でいきまっしょい！

どぎゃんもならん時は、声を出して助けを求めましょう。

助けにならないかもしれないけど、同じ思いのお母さんは、いっぱいいます！

会長 西 恵美



熊本市手をつなぐ育成会 ☎352-0010

